

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会 : 毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL : 054-641-3321
事務局 : 藤枝市青木1-11-10 TEL : 054-647-2300
FAX : 054-647-2040
E-mail : club1972@fujieda-rotary.org

会長:鈴木 舜光 副会長:大長 昭子 幹事:島村 武慶 副幹事:大塚 高弘

第2169回 トソング...我らが藤枝ロータリー トソングリーダー...青島 鉄男君



**ROTARY
SERVING
HUMANITY**

2016-2017年度 R1テーマ
人類に奉仕するロータリー

■ 会長報告

鈴木 舜光君

日本の大学は全国に758校(国立86校・公立77校・私立595校)あるそうです

17万人に1校の割合です その中で

将来生き残れそうな大学 本当に強い大学のランク付けをしたそうです

重視したのは「教育力」「就職力」「財務力」の3つに加え 少子化になって経営環境が厳しくなっても 生き残れる 財務力を含めた総合的に判断した「本当に強い大学」をランキングしたものです ベスト20を観てみますと

1位 東京大学 2位 京都大学 3位 慶應大学 4位 大阪大学 5位 豊田工業大学 6位 早稲田大学 7位 東北大学 8位 東京工業大学 9位 名古屋大学 10位 九州大学 11位 一橋大学 12位 北海道大学 13位 順天堂大学 14位 神戸大学 15位 創価大学 16位 自治医科大学 17位 東海大学 18位 高知工科大学 19位 大阪市立大学 20位 東京歯科大学

因みに 静岡県の大学は 87位に 浜松医科大学 134位に 文化芸術大学 147位に 静岡大学 185位に 静岡県立大学が入っていました

そして 正月の2日・3日に行われた 箱根駅伝に出場した20校の順位は

75位 明治大学 78位 日本大学 117位 帝京大学 134位 青山学院大学 147位 法政大学 188位 東京農業大学 221位 國學院大学 283位 神奈川大学 213位 東洋大学



駒澤大学 山梨学院大学 日本体育大学 中央学院大学 拓殖大学 中央大学 東京国際大学 上武大学

■ 幹事報告

島村 武慶君

- ・第2620地区より
英字版 Rotarian が届いております。

■ 出席報告

土屋 富士子君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
33/42 78.57%	33/42 78.57%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
○大杉君 ○栗原君 ○櫻井君 ○鈴木邦君
○仲田晃君 池谷君 落合君 村松君 仲田廣君

- (2)メイクアップ者
松田 真彦君(静岡北) 松葉 隆夫君(藤枝南)

■ インターアクト指導者講習会報告

平和則君

大塚 高弘君



昨年、10月30日(日)に2016~2017年度のインターアクト指導者講習会が、ホスト校である県立静岡高等学校において「未来に向けて~コミュニケーションの持つ力~」をテーマに、地区のインターアクトクラブ18校のうち14校、生徒50名を対象に開催されました。当クラブから大塚副幹事と私の2名、藤枝順心高校から平野先生他、生徒3名が参加いたしました。

この指導者講習会は、インターアクトクラブ指導者の研修と地区のインターアクトの交流を目的として毎年、開かれています。皆さんには既にお知らせしておりますが、今年は藤枝順心高校がホスト校となり開催されます。

さて、当日の内容ですが、10時から開会式、その後、講演会、留学生・ローターアクトからの実践・体験報告が行われ、昼食を挟んでインターアクトクラブの交流会・報告会、15時に閉会の点鐘となりました。今回の講演会では講師に「震災がつなぐ全国ネットワーク」の事務局長である松山文紀氏を招き、「若者への期待」、そして「震災がつなぐ全国ネットワーク」と題した講演が行われました。松山氏は、阪神淡路大震災で初めて障害者を支援したことがきっかけで被災地支援に取り組まれるようになり、直近では昨年4月の熊本地震、6月の福山市水害の被災地支援にあたられています。被災者の支援にあたっては、被災者の気持ちに寄り添った支援を行うことが大事であり、例えば、家の中の汚れたものを見ても決して『ゴミ』と言わない、片付け作業は、被災者のペースで被災者の心を整理してもらいながら行うなど具体的なお話は、地域のボランティア活動に取り組むインターアクトにとっていい教訓になったのではないかと思います。また、講演の最後にみんなが自然と助け合える気持ちになれる魔法の言葉「ありがとう」の大切さを若者への期待としてお話されたことが印象的でした。留学生の実践・体験報告では、スイスからの交換学生（バレンティーナさん）、フランスからの帰国学生（鈴木翔太さん、甲府南高校）より報告がなされました。国際交流についてインターアクトの皆さんも大いに興味を持たれたのではないかと思います。また、ローターアクト（山田幸弘氏）からは、現在、活動中のフィリピンの公立高校の支援活動についてお話がありました。交流会は、50人が毎に分かれ、グループの7つの班に分かれ、他己紹介によるグループ交流、「権利と熱気球」と言う交流ゲームの実施、各学校の活動紹介などが行われました。皆さん熱心に取り組んでいる様子でした。短い時間ではありますが、コミュニケーション作りのいい機会になったのではないのでしょうか。

今回、順心高校での開催・運営の参考にするためと言うことで、大塚副幹事が講習会の様子をビデオに収めてくれました。今日は、時間的に全部をご覧いただくことはできませんが、開会式

の一部をみていただきたいと思います。（時間までビデオを視聴する。）

以上を持ちまして、指導者講習会の報告とさせていただきます。なお、今年の開催時期は、まだ決定しておりませんが、今後、地区からの指示に基づいて順心高校と連携して実施計画を作り上げて行くこととなります。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。有り難うございました。



（担当／菅原君）